

お客様各位

富士通エフ・オー・エム株式会社

「ITパスポート試験 令和元年度秋期分」の出題傾向分析について

日頃は、FOM出版をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

情報処理推進機構(以下、IPA)より10月20日(日)に公開された「ITパスポート試験 令和元年度秋期分」の出題傾向を分析しましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

【留意事項】

IPAより公開されるのは、CBT試験に出題されている問題から100問を抜粋したものです。この問題は、春期・秋期試験に合わせて年2回公開されることになっています。

なお、CBT試験では、受験者ごとに様々な問題がランダムに出題され、同日同会場を受験しても、同じ問題が出題されるわけではありません。

以上の内容をご了承の上、分析結果をご利用ください。

記

1. 出題傾向

令和元年度秋期分として公開された問題の「カテゴリ別」「問題形式別」の出題傾向は、次のとおりです。

※参考までに直近2回分(平成30年度秋期分、平成31年度春期分)の数値も記載しています。

●カテゴリ別

カテゴリ	大分類	H30 秋 出題数	H31 春 出題数	R 元秋 出題数
ストラテジ系	企業と法務	16 問	17 問	11 問
	経営戦略	12 問	9 問	20 問
	システム戦略	7 問	9 問	4 問
	小計	35 問	35 問	35 問
マネジメント系	開発技術	3 問	5 問	8 問
	プロジェクトマネジメント	9 問	6 問	4 問
	サービスマネジメント	9 問	10 問	8 問
	小計	21 問	21 問	20 問
テクノロジー系	基礎理論	2 問	3 問	5 問
	コンピュータシステム	9 問	9 問	11 問
	技術要素	33 問	32 問	29 問
	小計	44 問	44 問	45 問
全合計		100 問	100 問	100 問

●問題形式別

問題形式	H30 秋 出題数	H31 春 出題数	R 元秋 出題数
用語(用語の説明や関連する用語を選択する問題)	44 問 (44%)	46 問 (46%)	46 問 (46%)
事例(具体的な事例に基づいて解答する問題)	43 問 (43%)	42 問 (42%)	42 問 (42%)
計算(数値や計算式を求める問題)	9 問 (9%)	8 問 (9%)	8 問 (8%)
表計算(表計算ソフトの利用が問われる問題)	1 問 (1%)	1 問 (1%)	1 問 (1%)
データベース(データベース設計の知識が問われる問題)	3 問 (3%)	3 問 (3%)	3 問 (3%)
合計	100 問 (100%)	100 問 (100%)	100 問 (100%)

※問題の分析はあくまでも当社独自の判断によるものです。

2. 公開問題分析

令和元年度秋期分として公開された問題内容は、「シラバス Ver.4.0」に対応した新傾向の試験問題として初めて公開されたものであり、シラバス Ver.4.0 で追加された新出用語に関する問題が多数出題されました。出題された全 100 問のうち、新出用語に関連する問題数は 26 問でした。これまでよりも多くの知識が必要になることから、難易度はやや難しいといえます。

今回の試験問題の特徴は、次のとおりです。

- 2018 年 8 月に改訂された「シラバス Ver.4.0」では、IoT やビッグデータ、AI(人工知能)などの第 4 次産業革命に関連する項目や、アジャイルなどの新しい開発手法に関連する項目が数多く追加されています。また、最新の情報セキュリティ分野の内容も追加されています。

「シラバス Ver.4.0」で追加された新出用語からの問題は、「IoT」「AI(人工知能)」「ディープラーニング」「RPA (Robotic Process Automation)」「FinTech」「イノベーションのジレンマ」「ハッカソン」「デザイン思考」「データサイエンティスト」「アジャイル開発」「DevOps」「チャットボット」「アジャイル開発」「LPWA(Low Power Wide Area)」「エッジコンピューティング」「ブロックチェーン」「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」「DDoS 攻撃」「組織における内部不正防止ガイドライン」などが出題されています。

※弊社の書籍「2019 年度版 IT パスポート試験 対策テキスト&過去問題集」(シラバス Ver.4.0 対応版)では、今回出題されたシラバス Ver.4.0 からの新出用語の解説について、「FinTech」「イノベーションのジレンマ」「ハッカソン」「デザイン思考」「ブロックチェーン」を除いたものをカバーしています。なお、2020 年 1 月発売予定の「令和 2-3 年度版 IT パスポート試験 対策テキスト&過去問題集」では、「シラバス Ver.4.0 完全対応版」としますので、これらの解説がなかった新出用語についてもすべてカバーします。

- 今回も「技術要素」の中分類「9-5 セキュリティ」からの出題数が 19 問と多かったです(全 100 問中の構成比として約 2 割を占めます)。なお、前回の平成 31 年春期分では 18 問、前々回の平成 30 年秋期分では 19 問であり、継続して約 2 割出題されています。
 主な出題内容として、サイバー攻撃では「ランサムウェア」「DDoS 攻撃」「チェーンメール」など、セキュリティ対策・技術では「リスクアセスメント」「ブロックチェーン(ハッシュ関数)」「TPM」「DMZ」「情報セキュリティの三大要素」「デジタル署名」「バイオメトリクス認証」「不正アクセスの対策」などが出題されており、セキュリティに関する幅広い知識が要求されました。今後も同様に高い比重で出題されることが予測されるため、試験対策として用語の意味をしっかりと理解しておく必要があります。
- 「企業と法務」からの出題が前回の 17 問から今回は 11 問と減少し、替わってシラバス Ver.4.0 からの新出用語が多く追加された「経営戦略」からの出題が前回の 9 問から今回は 20 問と大きく増加しています。「イノベーションのジレンマ」「ハッカソン」「デザイン思考」といった新出用語の概要を問う問題が出題されています。また、「IoT」や「AI(人工知能)」からは 1 問だけでなく複数の問題が出題されており、概要を問うものから活用事例まで出題されています。
 これら新しい用語に関する問題(シラバス Ver.4.0 で追加された主要な新出用語)は、今後も出題されることが試験主催元からアナウンスされていますので、試験対策として用語の意味をしっかりと理解しておく必要があります。
- 問題形式で見ると、「事例」問題は 42 問、「用語」問題は 46 問、「計算」問題は 8 問となっており、前回と同様の傾向でした。「事例」問題を解答するには、単純な用語の暗記だけではなく、関連する周辺の知識まで理解しているかどうか鍵となります。ただし、試験としては、全体を通して引っ掛け問題や考え込むような複雑な問題はほとんどなく、比較的わかりやすい問題といえます。
- 今回もシラバスに記載されていない内容が出題されており、「SDGs」「スマートシティ」「ジョイントベンチャ」「インバウンドマーケティング」「ライブマイグレーション」「TPM」「アクティビティトラッカ」に関する問題が出題されています。(当社テキストは競合他社に比べて、シラバスの内容の網羅率が圧倒的に高い状況です)

3. 試験動向

●年間の応募者数

令和元年度上期の応募者数は、昨年度の上期に比べて7,703人の増加で5万2千人を超え、前年度比で約17%と高い伸び率になりました。ペーパー方式からCBT方式に移行した平成24年度以降では、過去最高となっています。また、上期の応募者数が5万人を超えるのは、CBT方式へ移行後で初となりました。近年のAIブームや、IoTですべての人とモノがつながる社会「Society 5.0」などを背景に、最新のICTスキル保持を判断できる、国家資格でもあるITパスポート試験のニーズが増加しているものと思われます。

年度	上期	下期	合計
平成24年度	30,878名	38,105名	68,983名
平成25年度	32,869名	41,522名	74,391名
平成26年度	33,896名	44,824名	78,720名
平成27年度	35,696名	45,253名	80,949名
平成28年度	37,513名	48,792名	86,305名
平成29年度	40,554名	53,744名	94,298名
平成30年度	45,221名	61,951名	107,172名
令和元年度	52,924名	—	52,924名

●月別応募者数

月別応募者数は、年度末に応募者数が多くなる傾向があります。令和元年度上期の月別応募者数は、4月から9月まで(4月・5月・6月・7月・8月・9月)、6か月連続で同月の過去最高を更新しており、8月と9月は、上期の単月として初めて10,000人を超えました。なお、昨年(平成30年)の8月から、14か月連続で同月の過去最高を更新中です。

平成29年度	応募者数	平成30年度	応募者数	令和元年度	応募者数
平成29年4月	5,976名	平成30年4月	6,616名	平成31年4月	7,876名
平成29年5月	5,728名	平成30年5月	6,687名	令和元年5月	6,877名
平成29年6月	6,636名	平成30年6月	7,954名	令和元年6月	8,932名
平成29年7月	7,894名	平成30年7月	7,513名	令和元年7月	9,083名
平成29年8月	7,169名	平成30年8月	7,807名	令和元年8月	10,073名
平成29年9月	7,151名	平成30年9月	8,644名	令和元年9月	10,083名
平成29年10月	7,181名	平成30年10月	8,046名	令和元年10月	—
平成29年11月	6,523名	平成30年11月	7,653名	令和元年11月	—
平成29年12月	8,690名	平成30年12月	10,219名	令和元年12月	—
平成30年1月	8,277名	平成31年1月	9,539名	令和元年1月	—
平成30年2月	9,350名	平成31年2月	10,093名	令和元年2月	—
平成30年3月	13,723名	平成31年3月	16,401名	令和元年3月	—
合計	94,298名	合計	107,172名	合計	52,924名

4. 教材ラインナップ

当社の「IT パスポート試験」教材のラインナップ(発売中)は、次のとおりです。

●書籍

No.	教材名	型番 価格(税別)	説明
1	2019 年度版 IT パスポート試験 対策テキスト&過去問題集 ※シラバス Ver.4.0 対応 ★シラバス Ver.4.0 完全対応版の 「令和 2-3 年度版(FPT1911)」 は 2019 年 12 月発売予定 (2019 年 4 月からの新試験に 対応した改訂や、最新過去問 題の詳細解説の収録などあり)	FPT1808 2,200 円	シラバス「Ver.4.0」にそって必要な知識を解説する 教科書。出題範囲の体系的な学習に最適。シラバ ス「Ver.4.0」の新出用語は冒頭の章で詳細解説。 本番さながらの CBT 試験を確認できる「過去問題 プログラム」を添付し、過去問題 1,800 問(18 回分) を収録。全問に詳細な解説付きで、自動採点機 能、弱点補強機能、問題検索機能等あり。 ※添付:自動採点付き過去問題プログラム CD-ROM、別冊 予想問題 解答と解説 ※購入特典:解説動画 10 点の視聴可能(スマホ・ タブレット対応)
2	IT パスポート試験 直前対策 1 週間完全プログラム シラバス Ver.3.0 準拠	FPT1523 1,200 円	シラバス(Ver.3.0)に記載されている用語を解説し た用語集。携帯に便利なポケットサイズ。添付のカ ラーフィルムを重ねて、重要用語を効率よく覚えら れる。 ※添付:カラーフィルム
3	IT パスポート試験 書いて覚える 学習ドリル シラバス Ver.3.0 準拠	FPT1524 1,000 円	シラバス(Ver.3.0)に記載されている用語を書いて 覚える形式の学習帳。重要用語を穴埋め形式で、 解答を書き込んで覚えられる。 ※添付:別冊 解答
4	IT パスポート試験 でるかも 予想問題集	FPT1802 1,200 円	苦手分野攻略や実力アップに利用できる、試験の 出題傾向に沿った予想問題集。 ※購入特典:「Web 試験」付き(予想問題 221 問と 過去問題 400 の計 621 問を収録/詳細 解説付き/スマホ・タブレット対応) ※シラバス(Ver.4.0)対応の新試験(2019 年 4 月 開始)範囲の予想問題も含む。

※詳しくは、<https://www.fom.fujitsu.com/goods/itpass/index.html> をご覧ください。

※上記 No.1~4 は、電子書籍でもご提供しています。なお、上記 No.1 の電子書籍には、Kindle 限定にて「Web 試
験」付き(予想問題 123 問と過去問題 400 問の計 523 問を収録/詳細解説付き/スマホ・タブレット対応)の商
品もあります。

●アプリ

No.	教材名	価格 (税込)	説明
1	Android 版(Google Play) IT パスポート試験過去問題集 600 問 平成 27 年-平成 29 年	600 円	スマホやタブレットで手軽に学習できるアプリ。 平成 27 春期、平成 27 年秋期、平成 28 年春期、 平成 28 年秋期、平成 29 年春期、平成 29 年秋 期の計 600 問(6 回分)を収録。
2	iOS 版 IT パスポート試験過去問題集 600 問 平成 27 年-平成 29 年	600 円	スマホやタブレットで手軽に学習できるアプリ。 平成 27 春期、平成 27 年秋期、平成 28 年春期、 平成 28 年秋期、平成 29 年春期、平成 29 年秋 期の計 600 問(6 回分)を収録。

※詳しくは、<https://www.fom.fujitsu.com/goods/ebook/ap.html> をご覧ください。

以 上